

平成24年度

病害虫情報(第8号) 11月予報

平成24年10月29日
神奈川県農業技術センター所長

【内容】

I	11月の主な病害虫の防除要否、発生・防除時期、防除の要点	1
II	11月の病害虫発生予報の内容とその根拠	5
III	11月の気象予報及び気象の経過	8

農薬を使用する際は、使用基準を遵守するとともに飛散防止に努めましょう。
掲載農薬は一般的な場合を想定し、防除効果を優先して選定しています。
収穫期の作物が近接している場合など、個別に残留基準値の設定状況を考慮する必要がある場合は関係機関にご相談ください。

病害虫防除部 TEL 0463-58-0333
 テレホンサービス TEL 0463-58-6612
 インターネット <http://www.agri-kanagawa.jp/nosoken/boujo.asp>

I 11月の主な病害虫の防除要否、発生・防除時期、防除の要点

※ [防除要否] ◎:追加防除が必要 ○:通常防除 △:必要に応じて防除 ×:防除の必要なし
 [発生・防除時期] ——— 発生時期 ~~~~ 多発時期 …… 感染時期 ←————→ 防除適期

* 農薬に関する情報は、平成24年10月24日までの農薬登録情報に基づいて記載しています。

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				11月			12月		
				上	中	下	上		
カ ン キ ツ	貯蔵病害 (青かび病、 緑かび病)	並	○	(収穫期)				ベフトップジンフロアブル みかん:[7日, 3回] 1,500倍 みかんを除くかんきつ:[7日, 2回] 1,500倍 トップジンM水和剤 みかん:[前日, 5回] 2,000~3,000倍 みかんを除くかんきつ:[7日, 5回] 2,000~3,000倍等	・収穫時に傷を付けないように注意し、傷果は貯蔵庫に持たないようにする。 ・ベフトップジンは、貯蔵病害(黒腐病、軸腐病)にも適用あり。 ・トップジンMは、貯蔵病害(軸腐病)にも適用あり。
	ミカンハダニ	並	○	(収穫期)				オマイト水和剤 みかん:[7日, 2回] 750倍 みかんを除くかんきつ:[14日, 2回] 750倍等	

病害虫情報

(H24・No.8)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				11月		12月			
				上	中	下	上		
抑制	うどんこ病	—	○					(予)インプレッション水和剤 [発病前～発病初期, —] 葉かび病：500倍 うどんこ病、灰色かび病：500～1,000倍 (予・治)ベルコートフロアブル [前日, 3回] 2,000倍 (予・治)ポリオキシシAL水和剤 [前日, 3回] 葉かび病、灰色かび病：1,000倍 (治)サンクリスタル乳剤 [前日, —] うどんこ病：300～600倍 等	・ベルコートはすすかび病にも適用あり。 ・ベルコートはイミノクタジン剤。ダイマジン、ダイアメリットは同じ成分を含む。 ・ポリオキシシはポリオキシシ剤。ダイアメリットと同じ成分を含む。
	葉かび病	—	△	←→					
抑制	灰色かび病	—	△						
マト	コナジラミ類 タバコ コナジラミ (TYLCV)	やや多	○	~~~~	~~~~	~~~~		サンマイトフロアブル [前日, 2回] 1,000～1,500倍 アルバリン 又は スタークル顆粒水溶剤 [前日, 2回] 2,000～3,000倍 モスピラン水溶剤 [前日, 3回] 2,000倍 サンクリスタル乳剤 [前日, —] 300倍	・サンマイト(1,500倍)はトマトサビダニ、ハダニ類にも適用あり。 ・アルバリン、スタークルは、マルハナバチを利用する栽培では使用しないこと。 ・モスピランはアザミウマ類、アブラムシ類にも適用あり。 ・サンクリスタルはアブラムシ類・トマトサビダニ、ハダニ類(300～600倍)にも適用あり。
促成	コナジラミ類 タバコ コナジラミ (TYLCV)	やや多	○	←→	←→	←→	(定植)	【育苗期：株元施用】 アルバリン 又は スタークル粒剤 [育苗期, 1回：株元散布] コナジラミ類、ハモグリバエ類：1～2g/株 アドマイヤー1粒剤 [育苗期後半, 1回：株元散布] コナジラミ類：0.5～1g/株	・トマト黄化葉巻病 (TYLCV) の発生が、抑制トマトで見られているので注意する。 ・TYLCV感染防止には、育苗施設の防虫ネット (0.4mm) 展張、育苗期の粒剤施用を徹底する。 ・サンマイト(1,500倍)はトマトサビダニ、ハダニ類にも適用あり。
促成	アブラムシ類 (CMV)	—	○					【育苗期：散布】 ベストガード水溶剤 [前日, 3回] コナジラミ類、アブラムシ類：1,000～2,000倍 アザミウマ類：1,000倍	
促成	アザミウマ類 (TSWV)	—	○					サンマイトフロアブル [前日, 2回] コナジラミ類：1,000～1,500倍	
促成	ハモグリバエ類	—	○					コルト顆粒水和剤 [前日, 3回] コナジラミ類、アブラムシ類：4,000倍	
マト								【定植時：植穴施用】 モスピラン粒剤 [定植時, 1回：植穴土壌混和] コナジラミ類、アブラムシ類、トマトハモグリバエ：1g/株 ダントツ粒剤 [定植時, 1回：植穴処理土壌混和] コナジラミ類、アブラムシ類、マメハモグリバエ：1～2g/株 トマトハモグリバエ：2g/株 等	

病害虫情報

(H24・No.8)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				11月			12月		
				上	中	下	上		
イ チ ゴ	うどんこ病	並	○	←→		←→		(予)インプレッション水和剤 [発病前～発病初期, -] 2,000倍 (予)フルピカフロアブル [前日, 3回] 2,000～3,000倍 (治)サンクリスタル乳剤 [前日, -] 300～600倍 等	・インプレッション(500～1,000倍)、フルピカは灰色かび病にも適用あり。
	アブラムシ類	やや少	○	←→		←→		ウララDF [前日, 2回] 2,000～4,000倍 サンクリスタル乳剤 [前日, -] 300倍 等	・ウララ(2,000倍)、サンクリスタルはコナジラミ類にも適用あり。
	ハダニ類	並	○	←→		←→		スターマイトフロアブル [前日, 2回] 2,000倍 サンクリスタル乳剤 [前日, -] 300～600倍 等	・スターマイトはシクラメンホコリダニにも適用あり。
	ハスモン ヨトウ	やや多	○	~~~~	~~~~	~~~~		プレバソンフロアブル5 [前日, 2回] 2,000倍 トルネードフロアブル [前日, 2回] 2,000倍 マッチ乳剤 [前日, 4回] 3,000倍 等	・マッチはミカンキイロアザミウマ(1,000～2,000倍)にも適用あり。
ネ ギ	さび病	並	○	~~~~	~~~~	~~~~		(予・治)アミスター20フロアブル [3日, 4回] 2,000倍 等	・アミスターはべと病、黒斑病にも適用あり。
	シロイチ モジヨトウ	やや多	○	←→				アニキ乳剤 [3日, 3回] ネギアザミウマ : 1,000倍 シロイチモジヨトウ : 1,000～2,000倍	・ダントツはネギハモグリバエにも適用あり。
	ネギ アザミウマ	やや少	○					ダントツ水溶剤 [3日, 4回] ネギアザミウマ : 2,000～4,000倍 スピノエース顆粒水和剤 [3日, 3回] アザミウマ類 : 2,500～5,000倍 シロイチモジヨトウ : 5,000倍 等	
キ ヤ	菌核病	並	○	~~~~	~~~~	~~~~		(予)セイピアーフロアブル20 [3日, 3回] 1,000倍 (予・治)トップジンM水和剤 [3日, 2回] 1,000～1,500倍 (予・治)アミスター20フロアブル [7日, 4回] 2000倍 等	・セイピアー、アミスターは株腐病にも適用あり。
ベ ツ コ ナ ガ	オオタバコガ ハスモン ヨトウ	やや多 やや多	○ ○	~~~~ ←→	~~~~ ←→	~~~~ ←→		アクセルフロアブル [前日, 3回] オオタバコガ、ハスモンヨトウ : 1,000～2,000倍 コナガ : 1,000倍	
	コナガ	少	△					アニキ乳剤 [3日, 3回] 1,000～2,000倍 等	

【ミツバチへの影響】メーカー情報
・影響のない剤(散布乾燥後導入可)
インプレッション、フルピカ、サンクリスタル、ウララ、スターマイト、プレバソン、トルネード

【ミヤコカブリダニ、チリカブリダニへの影響】
・サンクリスタルは多少影響あり

病害虫情報

(H24・No. 8)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				11月		12月			
				上	中	下	上		
三浦半島地区野菜									
キ ヤ ベ	黒腐病	やや多	○	←→		←→		(予)Zボルドー [-,-] 500倍 (予・治)カセット水和剤 [7日, 3回] 1,000倍 等	・Zボルドーには、クレフノン(100~200倍)を加用する。結球後に使用すると薬害を生じる可能性があるので注意する。 ・Zボルドーはべと病、軟腐病にも適用あり。 ・カセットは軟腐病にも適用あり。 ・カセットはオキシリニック酸剤とカスガマイシン剤の混合剤。スターナ、カスミンボルドー等と同じ成分を含む。
	菌核病	—	○	←→				(予)セイビアーフロアブル20 [3日, 3回] 1,000倍 (予・治)トップジンM水和剤 [3日, 2回] 1,000~1,500倍等	・セイビアーは株腐病にも適用あり。
	オオタバコガ ハスモン ヨトウ コナガ	やや多 並 少	○ ○ △	~~~~~ ←→	~~~~~	~~~~~		プレバソンフロアブル5 [前日, 3回] 2,000倍 アクセルフロアブル [前日, 3回] オオタバコガ、ハスモンヨトウ : 1,000~2,000倍 コナガ : 1,000倍等	
ダ イ コ ン	黒斑細菌病	やや多	○	←→		←→		(予)Zボルドー [-,-] 500倍 (予・治)カセット水和剤 [21日, 3回] 1,000倍 等	・Zボルドーは軟腐病にも適用あり。 ・Zボルドーの薬害が懸念される場合は、クレフノン(100~200倍)を加用する。 ・カセットは軟腐病にも適用あり。 ・カセットはオキシリニック酸剤とカスガマイシン剤の混合剤。スターナ、カスミンボルドー等と同じ成分を含む。
	白さび病 (ワッカ症)	やや多	○	←→				(予)ハチハチ乳剤 [14日, 2回] 1,000倍 (予・治)ランマンフロアブル [3日, 3回] 2,000倍 等	・ワッカ症の防除は11月上旬の散布が効果が高い。
	アブラムシ類 コナガ ナモグリバエ	やや多 やや少 やや少	○ ○ ○	~~~~~ ←→		←→		ハチハチ乳剤 [14日, 2回] 1,000~2,000倍 アドマイヤーフロアブル [14日, 2回] アブラムシ類 : 4,000倍 スピノエース顆粒水和剤 [7日, 3回] コナガ : 2,500~5,000倍等	・ハチハチはカブラハバチにも適用あり。

病害虫情報

(H24・No.8)

神奈川県農業技術センター

Ⅱ 11月の病害虫発生予報の内容とその根拠

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	平年比	
カンキツ類 貯蔵病害 (青かび病、緑かび病、黒腐病、軸腐病等)	—	並	1) 果実の青かび病、緑かび病等の樹上発病は平年より多い。(+) 2) 黒点病の発生は、巡回調査、県予察ほとんど平年より少ないため、軸腐病の発生は平年より少ないと予想される。(—) 3) 本年の着果量は平年よりやや少～並(±)、果皮の厚さは平年よりやや薄～並(±)で、減酸は平年並(±)。 4) 気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予報。(±)
ミカンハダニ	少	並	1) 巡回調査では、発生が平年並。(±) 2) 県予察ほでは、発生が平年より少ない。(—) 3) 気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予報。(±)
抑制・促成トマト タバココナジラミ	少	やや多	1) 抑制キュウリの巡回調査では、発生が平年よりやや多い(+)、抑制トマトの巡回調査では、発生が前年より少ない(—)。 2) 野外設置の黄色粘着板へのコナジラミ類の誘殺数は、前年並。(±) 3) 気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予報。(+)
促成イチゴ うどんこ病	少	並	1) 巡回調査では、発生が平年並。(±) 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予報。(±)

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	平年比	
促成イチゴ アブラムシ類	少	やや少	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや少ない。(—) 2) 県予察ほ(平塚)の黄色水盤への飛来は、平年より少ない。(—) 3) 気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予報。(+)
ハダニ類	少	並	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや少ない。(—) 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予報。(+)
アザミウマ類	少	やや多	1) 野外設置の青色粘着板への誘殺数は、平年並。(±) 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予報。(+)
ネギ さび病	少	並	1) 巡回調査では、発病が見られず、発生が平年よりやや少ない。(—) 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予報。(+)
黒斑病	少	並	1) 巡回調査では、発生が平年より少ない。 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予報。(+)
ネギアザミウマ	中	やや少	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや少ない。(—) 2) 野外設置の青色粘着板への誘殺数は、平年並。(±) 3) 気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予報。(±)

病害虫情報

(H24・No.8)

神奈川県農業技術センター

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	平年比	
キャベツ（三浦半島地区を除く）			
黒腐病	少	並	1) 巡回調査では、発病が見られず、発生が平年より少ない。（－） 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予報。（＋）
菌核病	少	並	1) 巡回調査では、発病が見られず、発生が平年よりやや少ない。（－） 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予報。（＋）
コナガ	少	少	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや少ない。（－） 2) 横浜のフェロモントラップへの誘殺数は、平年より少ない。（－） 3) 県予察ほ（平塚）のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。（－） 4) 気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予報。（±）

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	平年比	
露地野菜全般（三浦半島地区を除く）			
ハスモンヨトウ	－	やや多	1) キャベツの巡回調査では、発生が平年並（±）。ダイコンの巡回調査では、発生が平年よりやや多い（＋）。 2) 横浜のフェロモントラップへの誘殺数は、平年より多い。（＋） 3) 県予察ほ（平塚）のフェロモントラップへの誘殺数は、平年より少ない。（－） 4) 気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予報。（±）
オオタバコガ	－	やや多	1) キャベツの巡回調査では、発生が平年よりやや少ない。（－） 2) 横浜のフェロモントラップへの誘殺数は、平年より多い。（＋） 3) 県予察ほ（平塚）のフェロモントラップへの誘殺数は、平年より多い。（＋） 4) 気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予報。（±）
シロイチモジヨトウ	－	やや多	1) 横浜のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。（±） 2) 県予察ほ（平塚）のフェロモントラップへの誘殺数は、平年より多い。（＋） 3) 気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予報。（±）

病害虫情報

(H24・No.8)

神奈川県農業技術センター

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	平年比	
三浦半島地区			
キャベツ 黒腐病	少	やや多	1) 巡回調査では、発病が見られず、発生が平年並。(±) 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予報。(+)
	少	少	1) 巡回調査では、寄生が見られず、発生が平年より少ない。(－) 2) 三浦のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(－) 3) 気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予報。(±)
ダイコン 黒斑細菌病	少	やや多	1) 巡回調査では、発病が一部で見られ、発生が平年より多い。(＋) 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予報。(＋)
白さび病	少	やや多	1) 巡回調査では、発病が見られず、発生が平年並。(±) 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予報。(＋)
アブラムシ類	少	やや多	1) 巡回調査では、発生が平年より多い。(＋) 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予報。(±)
ナモグリバエ	少	やや少	1) 巡回調査では、被害が見られず、発生が平年より少ない。(－) 2) 気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予報。(±)

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	平年比	
三浦半島地区			
ダイコン コナガ	少	やや少	1) 巡回調査では、寄生が見られず、発生が平年よりやや少ない。(－) 2) 三浦のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(－) 3) 気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予報。(±)
露地野菜全般 ハスモンヨトウ	－	並	1) キャベツの巡回調査では、発生が平年よりやや少ない。(－) 2) 三浦のフェロモントラップへの誘殺数は、平年より多い。(＋) 3) 気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予報。(±)
オオタバコガ	－	やや多	1) キャベツの巡回調査では、寄生が見られず、発生が前年並み。(±) 2) 三浦のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや多い。(＋) 3) 気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予報。(±)

(注) 「発生量」の表示 …… 程 度：甚>多>中>少>無

平年比：多>やや多>並>やや少>少

「予報の根拠」 …… (＋)：多発要因 (－)：少発要因

Ⅲ 11月の気象予報(気象庁 地球環境・海洋部10月25日発表3か月予報)

〈天 気〉

平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

〈要素別予報〉

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
11月	気 温	20%	40%	40%
	降 水 量	20%	40%	40%

〈気象の経過〉 [観測地 横浜地方气象台]

10月第5半旬まで

気温は、1～3, 5半旬は平年より高く、4半旬は平年並だった。

降水量は、1～3, 5半旬は平年より少なく、4半旬は平年より多かった。

日照時間は、1, 5半旬は平年より多く、2～4半旬は平年並だった。

